

トークンレス・ワンタイムパスワード

PassLogic

エンタープライズ版

バージョンアップ概要とリリースノート(エンタープライズ版 v2.3.0)

2016/2/1



1. リリースノート
2. 機能アップ
3. 機能改善・不具合修正

PassLogicの歩み

1987

「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム PassLogic認証方式を発明。

2000

PassLogic認証方式が米国特許 (US6141751) を取得。



2000-2006

パソロジック方式の技術ライセンスを日本企業へ提供。

2007

PassLogicのパッケージ販売を開始。SSL-VPN連携機能を実装。



2008

Webサービス組み込み用APIを強化。スマートデバイスにいち早く対応。

2009

Webアプリとの連携機能 (リバースプロキシ & SSO) を実装。LDAPからのユーザID同期を実装。

2010

セキュリティポリシーや運用機能、連携機能など基本機能を大幅に拡充。英語対応し海外展開が可能に。マルチテナント版リリース。

2011

クラウドアプリ連携 (SAML) に対応。スマートデバイス最適化。

2012

マルチテナント版機能拡充しサービスプロバイダのデファクト採用の礎に！ (ソフトバンク/富士通/KDDI/NEC/IIJ など)

70万ID突破

2013

運用の自動化を実現する機能拡充。

80万ID突破



2014

小規模から大規模要件まで対応可能なエンタープライズ版をリリース。

90万ID突破

2015

エンタープライズ版の機能拡充。主要連携製品とメーカー間の検証を完了。

100万ID突破

2016

リリースノート

リリースノート

【機能アップ】

- ・ロードバランシングにおいてスティッキーセッション以外のバランシング設定が利用可能になりました。
(radius認証機能と 任意のシークレットパターン変更機能 サーバ間データ共有化に伴い)
- ・ユーザごとのSSOパラメータをユーザが自身で登録する機能が追加されました。
- ・本人だけが登録可能(管理者 閲覧・編集不可)な SSOパラメータ(password1-5) が追加されました。
- ・ドメイン管理機能が追加されました。
ドメインごとにユーザデータの登録方法(手動・CSV取込/LDAP認証連携/LDAP ID同期)を指定できます。
- ・LDAP認証連携 LDAPサーバに対応しました(これまではActiveDirectoryのみ対応)。
- ・/ui/ログイン画面 ドメインプルダウンを非表示にすることができるようになりました。
(ユーザ名入力欄に uid@domain 形式で入力)
- ・PassLogic認証方式 乱数表のマス目の数(最大12×4)を変更することができるようになりました。
- ・PassLogic認証方式 乱数表のガイド文字を表示する機能が追加されました。
- ・F5 BIG-IP APMとの二要素認証連携機能が追加されました。

【機能改善・不具合修正】

- ・端末固定機能 Cookie値「固定」モード が追加されました。
- ・LDAP ID同期 同期モード「追加・更新・削除」を指定した場合に 削除処理を先行して処理するようになりました。
(大規模なユーザ入れ替え時のライセンスオーバー対策)
- ・WebSSO ログインIDのvalue属性フォーマット を選択肢から選べるようになりました。
- ・WebSSO ADパスワード送信機能が追加されました。
- ・SSL-VPN シングルサインオン ログインIDのvalue属性フォーマット 選択肢に「Uid Only」が追加されました。
- ・SSL-VPN シングルサインオン URIスキーム パラメータ サニタイズ変換不具合を修正しました。

【その他】

- ・RHEL7に対応しました。



機能アップ

乱数表のマス目の数を変更可能に

乱数表のマス目の数（サイズ）を変更可能になりました。

管理ツールの設定項目

乱数表の縦横サイズ

縦サイズ

横サイズ

※乱数表の縦横サイズを指定します。(最大値:縦4×横12マス)

表示例) 4 × 8の場合

PassLogic

3	9	3	4	5	9	1	6
6	3	4	8	7	7	4	1
8	7	3	2	2	1	9	2
0	1	5	7	0	1	4	8

パスワードを入力してください。 Secured by PassLogic.

ログイン

1	2	3	4	5	
6	7	8	9	0	del

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2016

表示例) 1 × 12の場合

PassLogic

5	2	7	7	1	7	9	4	9	4	2	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

パスワードを入力してください。 Secured by PassLogic.

ログイン

1	2	3	4	5	
6	7	8	9	0	del

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2016

乱数表にガイドの表示が可能に

乱数表にガイドを表示できるようになりました。
パターンを覚える際に使ったり、電話サポートなどにご利用いただけます。

管理ツールの設定項目

乱数表のガイドを表示 乱数表のガイドを使用する際には有効にしてください。

PassLogic

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
I	3	6	2	5	1	0	4	8	7	1	1	7
II	8	0	1	0	6	4	6	6	4	9	2	5
III	5	3	3	0	9	7	2	6	5	3	4	7
IV	2	8	9	0	1	2	4	9	5	3	7	8

パスワードを入力してください。 ログイン

Secured by PassLogic.

1 2 3 4 5
6 7 8 9 0 del

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2016

パターンを覚えやすくしたり、電話のみでのサポートが必要な場合でも、座標を伝えやすくなります。

ユーザーID入力をする際のドメインの入力を、プルダウン方式と、ユーザーによる手入力方式から選べるようになりました。

これまではプルダウン方式のみ

PassLogic

ユーザー名を入力してください。

ユーザー名

user01

example.com
passlogy.com
local

次へ

ja ▼

利用可能なドメインが
確認できてしまう。

新機能

PassLogic

ユーザー名を入力してください。

ユーザー名

user01@example.com

×

次へ

ja ▼

複数の企業ドメインが混在している
場合にも対応可能に！

LDAP/ADとの連携機能を拡充 1

ローカルユーザも含めドメイン単位でユーザデータの登録方法(手動・CSV取込/LDAP認証連携/LDAP ID同期)を指定できるようになります。
また、LDAP ID同期においては、1ドメインまでしか同期できませんでしたでしたが、本バージョンから、複数のドメインを同期させることができます。



The screenshot shows the PassLogic administration interface. The left sidebar contains navigation items: ユーザ管理, ドメイン管理 (highlighted), SSL-VPN, WebAPP, Cloud, 管理者, 設定, メンテナンス, ログ閲覧, and パスワード変更. The main content area displays a table for LDAP configurations:

ドメイン名	LDAP 認証連携	LDAP ID同期	削除
local	編集 グループマッピング	編集 いますぐ同期実行	
example.com	編集 グループマッピング	編集 いますぐ同期実行	削除
passlogy.com	編集 グループマッピング	編集 いますぐ同期実行	削除

Below the table is an '追加' (Add) button. A red callout bubble points to the table with the text: ① ドメイン単位でユーザーデータの登録方法を選択可能に！

Another red callout bubble points to the table with the text: ② 複数のLDAPとのID同期が可能となり、複数のドメインが混在する環境でもご利用いただけるようになります。

① ドメイン単位でユーザーデータの登録方法を選択可能に！

② 複数のLDAPとのID同期が可能となり、複数のドメインが混在する環境でもご利用いただけるようになります。

LDAP/ADとの連携機能を拡充 2

AD認証連携がLDAPサーバにも対応しました。
これに伴い、機能名が「LDAP認証連携」となります。

一段階目

① ユーザIDとADパスワード入力

PassLogic

ユーザー名を入力してください。

ユーザー名 passlogy.com

AD Password

次へ

ja

LDAPのユーザーも
ログイン可能に！

二段階目

② パスワード入力

PassLogic

1	8	2	0	4	1	4	9	3	4	1	2
0	5	7	3	3	6	2	8	6	3	3	1
8	7	4	6	7	5	2	7	9	0	0	6
4	7	0	9	9	5	2	1	6	5	8	5

パスワードを入力してください。

ログイン

Secured by PassLogic

1	2	3	4	5	
6	7	8	9	0	del

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2015

③ ログイン完了

PassLogic

- SSL-VPN
 - BIG-IP APM
 - Cisco ASA
 - Juniper MAG
- WebAPP
 - Deskmets NEO
 - サイボウズ
- Cloud
 - Google App
 - salesforce

パスワード変更 ログイン

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2015

管理ツールの設定項目

(*) 必須項目

LDAPサーバ接続設定

domain	example.com
LDAPタイプ	OpenLDAP
サーバ名	<input type="text"/> (*)

LDAPタイプの
設定だけでOK

LDAP/ADとの連携機能を拡充 3

LDAP認証連携でもLDAP属性のマッピングが可能になりました。

LDAP属性値マッピング定義

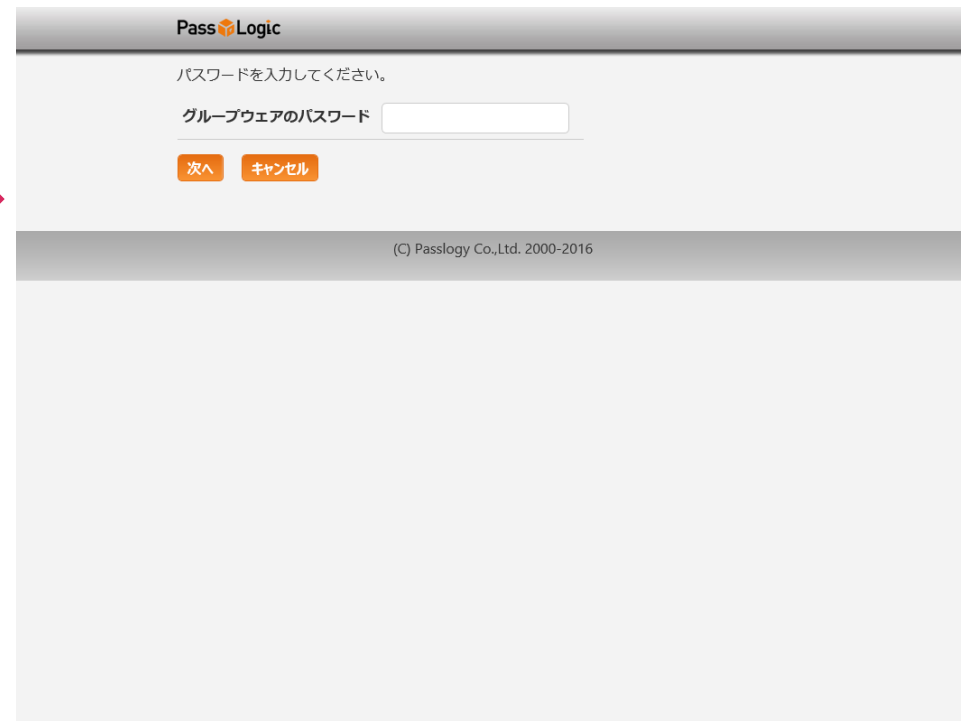
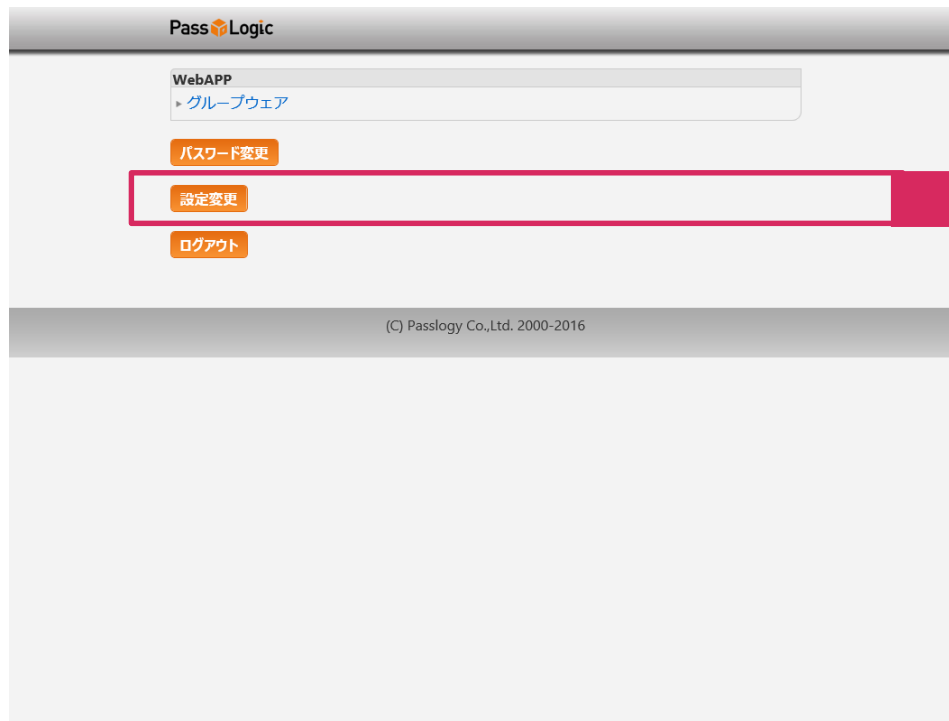
ユーザID	<input type="text" value="samaccountname"/>	* 空の場合、'samaccountname'が設定されます。
メールアドレス	<input type="text" value="mail"/>	* 空の場合、'mail'が設定されます。
氏名	<input type="text"/>	
社員番号	<input type="text"/>	
部署	<input type="text"/>	
電話	<input type="text"/>	
グループ1	<input type="text"/>	
グループ2	<input type="text"/>	
グループ3	<input type="text"/>	
グループ4	<input type="text"/>	
グループ5	<input type="text"/>	
有効期限	<input type="text"/>	
備考	<input type="text"/>	
attribute1	<input type="text"/>	

LDAP ID同期機能と同様に、PassLogicからLDAP認証を実施するタイミングでも、様々な属性情報をPassLogicに取り込めるようになります。

ユーザー自身で拡張パラメータの変更ができます

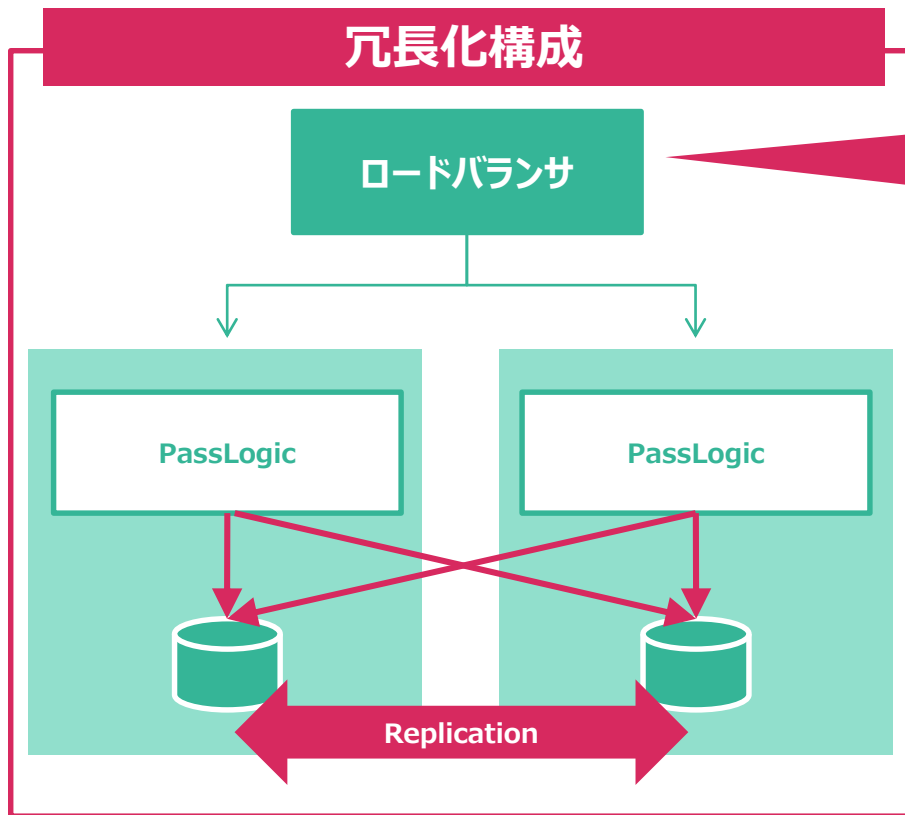
ユーザー自身で拡張パラメータを変更させることができるようになりました。
また、ユーザーのみが変更可能な拡張パラメータ(*)が実装されました。

(*)管理者が閲覧できないパラメータであり、SSO用の固定パスワード保持用としての利用を想定しています。



スティッキー以外が利用可能に

ロードバランシングにおいてスティッキーセッション以外のバランシング設定が利用可能になりました。



サーバ間データ共有化を内部的に処理したことで、スティッキーセッションが不要になりました。

F5 BIG-IP APMとの二要素認証機能

F5 BIG-IP APMと密に連携して端末認証を追加できます。

POINT

- 1. PKIなどのインストール不要
- 2. 端末情報の収集自動

● 端末の初回登録時の手順

① PassLogicのログイン画面で、ユーザー名（ID）を入力



② パターンに沿って抽出したパスワードを入力し、ログイン



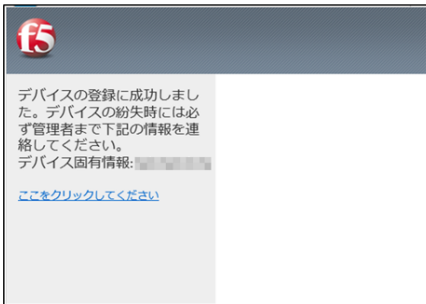
③ 端末固有情報を収集し、BIG-IP APMに送信



④ 端末固有情報を登録の可否を選択



⑤ 登録完了。登録された情報が表示される



⑥ BIG-IP APMに接続し、使用開始



機能改善・不具合修正

端末固定機能で固定値のCookieが利用可能になりました。

端末固定 認証可能な端末を固定する場合はチェックを入れてください。

クッキー値

ユーザーがPassLogicに入力したADパスワードを連携機器に引き渡せるようになりました。

ADパスワードの送信 送信する

ADパスワードのname属性

(*)

ADパスワードとしてPOST送信する値(value)の名前(name)を指定します。

SSL-VPN機器（RADIUS連携）
の場合のみ利用できたADパスワード
の引き渡し機能が、WebSSOとの
連携でも利用可能になりました。

その他

RHEL 7 のOSに対応

他社認証製品に先駆けて、Red Hat Enterprise Linux (RHEL 7) が PassLogicのサーバ動作OSに追加されました。

RHEL 6系のOSは、ライフサイクルが残り5年未満となっておりますが、今回 RHEL 7系にも対応したことで、5年間以上利用するシステムでもPassLogicであれば安心してご提案いただけます。

	製品初期出荷日	Production1終了日	Production2終了日	Production3終了日	ELS終了日
RHEL 7	2014年6月10日	2019年Q2	2020年Q4	2024年6月30日	---
RHEL 6	2010年11月10日	2016年Q2	2017年Q2	2020年11月30日	---

RHEL 6系は5年を切っています。
(2016年1月現在)